

日本史	1年・前期	1単位	教授 中村 光一
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31220131

1. 授業のねらい・概要

日本の歴史を通史の形でたどりつつ、それにかからめて医療・看護史に関する知識を社会的・文化的側面を中心として学ぶ。もとより8回の講義の中で医療・看護史を網羅的に述べることは困難であり、トピックを取り上げる形で講義を行うことをあらかじめ断っておきたい。

2. 学修の到達目標

1. わが国における医療の歴史の概要を知る。
2. 歴史の流れを通じて、医療の上で看護師の果たす役割の大きさを認識する。

3. 授業の進め方

各回の講義は、google classroom を利用した教材（動画）・課題の提示と、それに対するGメールによる課題提出の形式により行う。

4. 授業計画（講義）

1. 導入—日本の人口動態	5. 『病草紙』の世界
2. 律令制下の医療制度	6. 蘭学の発達
3. 「天然痘」と奈良朝政治	7. 華岡青洲と麻酔術
4. 怨霊と物の怪	8. 「脚気」のなぞを解く

5. 成績評価の方法・基準

毎回の提出課題（80%）、定期試験週間に実施するまとめ課題（20%）。

6. テキスト・参考文献

テキストは特に指定しない。参考文献は講義の中で随時紹介していくので、図書館を利用するほか、新書レベルの書籍は各自購入して読むように心がけてほしい。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

前の回の講義時間の中で紹介する参考文献等を、次回の講義時間までに目を通しておくこと。この準備学習には、2時間程度が必要である。

8. 受講上の留意事項

毎回の講義を提示された期間内にきちんと受講するとともに、指示に基づき課題を期限内に提出するように心がけてほしい。また、スマートホン・タブレット・パソコンなど、講義受信・課題送信のためのツールのコンディションを万全な状態に維持しておくよう心がけてほしい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

課題についての講評を google classroom のストリームにあげるので、その内容を確認して次の課題作成の際の参考にしてほしい。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

該当する。本授業は、博物館学芸員としての実務経験を活かして指導する。